



特集 新しい県政ビジョン

若さ・豊かさ・ボランティア





第28回富山県総合開発審議会

県民の声を反映した総合計画

富山県知事 中田幸吉

この計画は、すべて県民の立場に立って考えるという原則のもとに、県内のどこに住んでも、「やすらぎ」と「うるおい」と「生きがい」のある生活が送れるような、住みよい県づくりを進めようというものです。今回の見直しにあたっては、若者の多い、活力ある人口構成を実現すること。豊かで心のかよい合う地域社会を形成すること。この二つを、昭和六十年を展望した場合の重点目標としておられます。

県総合開発審議会の六カ月にわたる審議と、各地域における意見交換会、アンケート調査、多くの学識経験者の貴重な意見を結果し、県民の声が反映

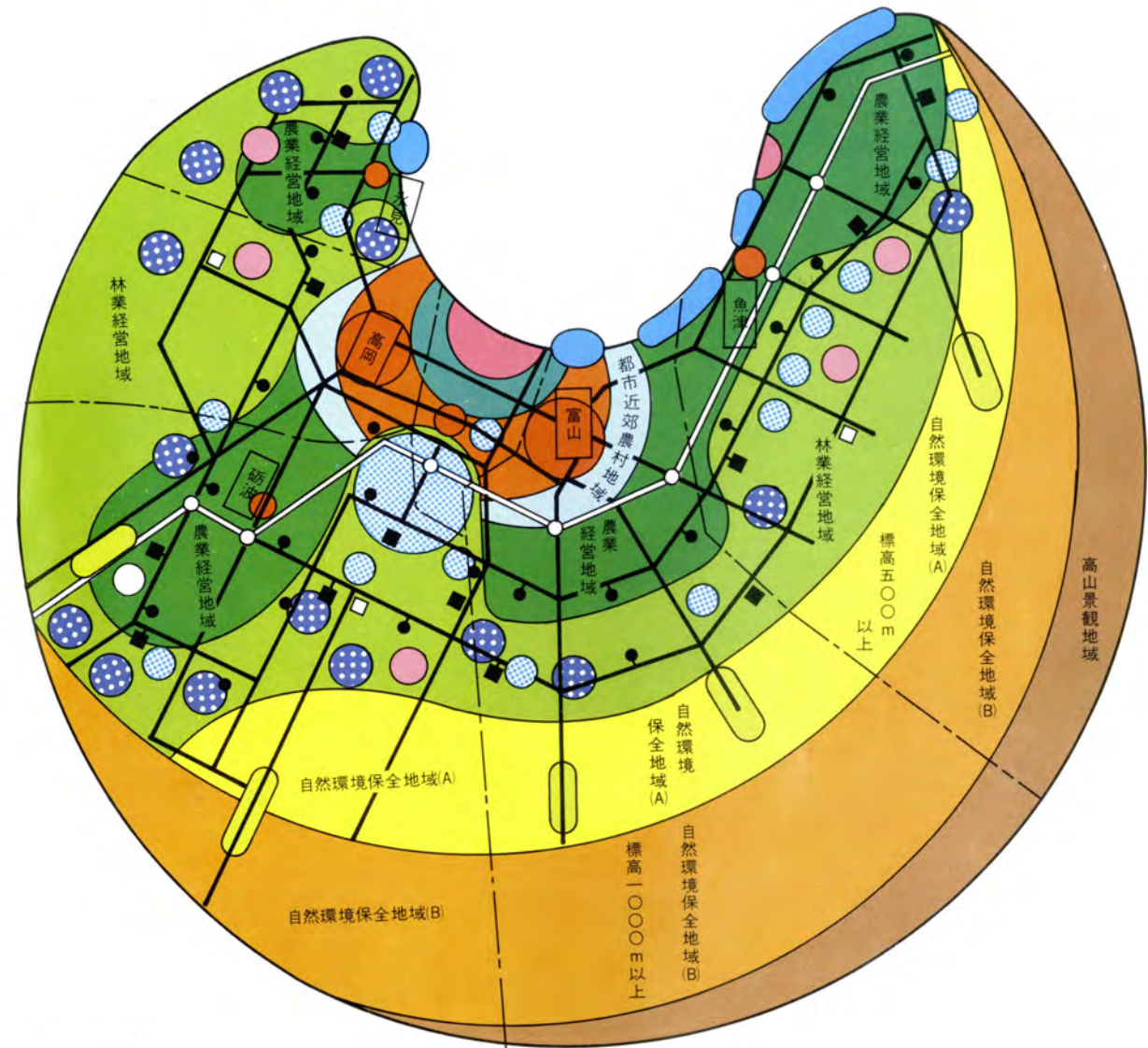
されたこの計画は、今後の県政に大きなよりどころとなるものと確信するものであります。計画の実現にあたっては、県として所要財源の長期的、安定的な確保と、一層の合理化、効率化に努め、組織体制に十分検討を加え、計画の特色である、**「人間優先、県民の立場に立った基調」**というものを、効果的に実現する決意です。

しかし、県のみ力によってなし得るものではありません。まず、県民各位のご理解と、積極的な参加を得ることが最も重要であります。また、国の積極的な施策の展開と、市町村の絶大なご協力、民間の意欲的な参加を統合した集積力が発揮される必要があります。

特集

住みよい富山県をつくる総合計画 修正計画

土地利用の基本的構想図



●凡例

- 市街化想定地区
- 既成市街地
- 供給処理施設地区
- 海岸保全緑化地区
- 工業地区
- 内陸工業団地
- 森林リゾート基地
- 自然景観保全地区
- 緩衝緑地地区
- 農村工業化拠点
- 果樹・牧草地
- 自然環境保全地区
- 主要幹線
- 高速道路

県民が、県内のどこに住んでいても、生きがいのある生活が送れるような、県づくりをすすめるために、県内を6つの広域生活圏に分けて取り組むことにしています。

そして、限られた県土を最も有効に活用するため、基本的には次のように考えております。

●森林は、基本的には保全する立場を守っていきます。

- 優良農地は、できるだけ確保します。
- 都市的地域については、都市の再開発をはじめ公園、広場などの公共空間を創出し、整備していきます。
- 若者の定着する文化的環境の創出に努めます。
- スーパー農道や、大規模林道なども、生活道路として活用する方向で整備を進めます。

重点目標

若者が多い活力ある人口構成を実現する

昭和六十年の人口は、これまでの勢どおりに変化するとすれば、一・一四万人（昭和五十年一〇七万人）になる見込みです。この場合四五歳以上の中高年齢層が八万人増加する反面、一五歳から四四歳までの働き盛りの人口が二万三千人も減少することになります。

若年層の減少、中高年齢層の大きな増加という形は、今後の人口の再生産がさらに小さくなり、人口構成における活力が次第に失われていくことにつながります。

自然増加率で見ますと、昭和五十年には人口千人当たり八・九人であったものが、六十年には四・一人と半減することになります。

このため、計画では、特に若年層の定着、流入を図るための



施策に重点をおいており、活力ある人口構成の実現をめざし、人としています。

六十年の目標人口を約一一七万人

豊かで心のかよい合う地域社会を形成する



最近の社会は物質中心となり、心の荒廃が目立ってきております。県民一人ひとりの生活が、社会を構成するすべての人々と、相互に深いかかわりあいを持って成り立っている以上、よりよい生活を実現していくためには、地域住民の連帯感を高め、心の

ふれあいのある社会を形成していかねばなりません。

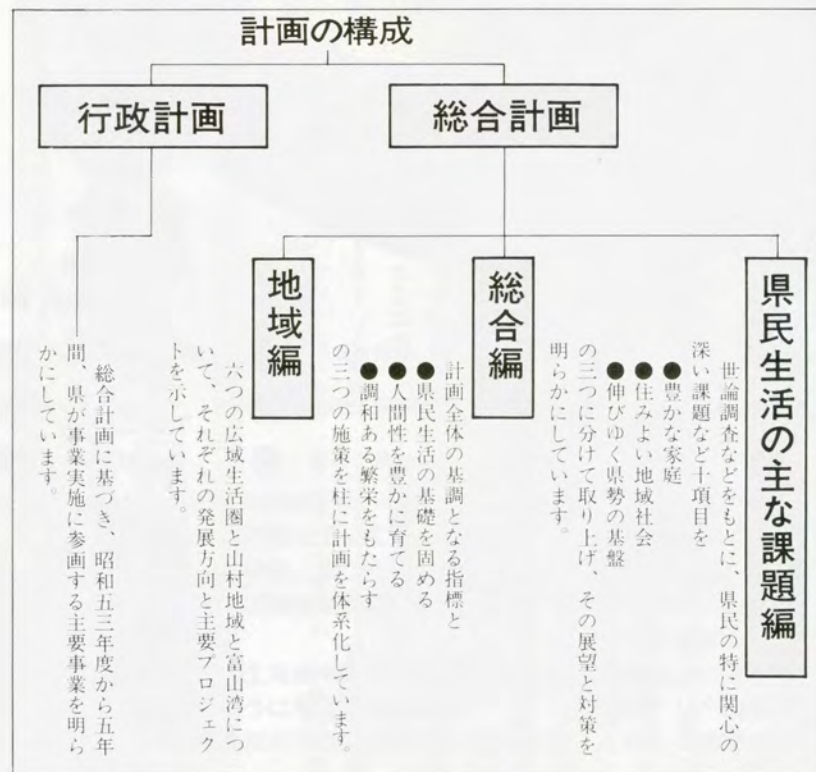
県民総ぐるみのボランティア活動の推進、教育、文化、スポーツ、自然保護など人間中心の施策を重点に、より良い地域社会の形成をめざしております。

特集 住みよい富山県をつくる総合計画＝修正計画＝ もくじ

土地利用の基本的構想図	表 2	県民生活の基礎を固める	13～14
知事あいさつ・県民の声を反映した総合計画	1	人間性を豊かに育てる	14～15
計画の基本的な考え方	2	調和ある繁栄をもたらす	15～16
計画をとりまく諸情勢の変化		●地域編	16～17
計画の構成		広域生活圏の大型プロジェクト	
重点目標	3	富山湾と山村地域	
若者が多い活力ある人口構成を実現する		行政計画	18
豊かで心のかよい合う地域社会を形成する		総合計画の3本柱実現	
総合計画		主な生活指標	19～21
●県民生活の主な課題編		昭和60年のふるさと「富山県」	
豊かで健康なゆとりある家庭を	4～5		
若さがいっぱい 住みよい社会	6～9	トピックス 1月16日～2月15日	
伸びゆく富山県勢の基盤をつくる	10～11	広報課から広報	24
●総合編		県有美術品紹介□「山水模様文台」	表 3
県民活動の基本となる指標	12～13	ことしの県政バス教室	表 4

計画の基本的な考え方

限りある県土を最も有効に活用し、県民が県内のどこに住んでいても、職場があり、生活の利便性や快適性が確保され、生きがいのある生活が送れるようにすることです。



計画をとりまく諸情勢の変化

昭和四八年に策定した「住みよい富山県をつくる総合計画」は、①石油ショック以後の日本経済の成長パターンが安定成長型へと変化し、民間活動の停滞、財政の伸び悩みから、計画されていた諸プロジェクトの実現が困難になってきたこと。②北陸新幹線の五四年開通が不可能と

なり、六十年代になる見通しであること。③国の第三次総合開発計画（三全総）が策定され、これと整合を図る必要があること。④ローリングシステムによる見直しの時期にあること。など、諸情勢の変化に対応しながら、実現可能なものにするため修正したものです。

県民生活の主な課題編

1 まず生活の安定を



❖ 雇用の安定

すべての県民が、安定した生活が送れるためには、まず、雇用を安定し、所得水準を維持する必要があります。このため、企業の立地を推進し、雇用の機会を創り、失業の防止に努めます。

また、特に中高年齢者の雇用安定と、若年労働者の県内就職を促し、就職のあつ旋、職業訓練などの施策を充実、強化します。

❖ 消費生活の安定

安定した物価のもとで、必要なものを、安心して買えるように、生活必需物資の供給、流通機構の整備、価格安定対策等を総合的に推進します。

県民が、快適な生活が享受できるように、賢い消費者づくり、

物を大切にすると運動などを推進強化するとともに、消費生活センターの拡充整備をします。また、消費生活センターに、苦情処理専門員を配置するとともに、被害者救済基金制度の設置などを検討します。

豊かで健康なゆとりある家庭を



県民スポーツ大学
(バレーボールの部は大松講師の指導で)

3 学ぶよろこびと生きがい

❖ 生涯教育体制の整備・拡充

近年、県民の中に生涯教育の気運が高まっています。

「いつでも、どこでも、だれ

でも、なんでも」、必要に応じて学ぶことにより、学ぶよろこびと、その学びから得る生きがい



2 県民すべてが健康で

❖ 中高年齢層の健康増進を柱に

健やかに生きることは、人間にとって、最も基本的な課題です。病気にかかっている対策だけでなく、予防、そして積極的な健康増進ということに力点を置いていきます。

成人病の正しい知識と、早期発見、早期治療の個別、集団の保健指導をいたします。

健康づくりを推進するために

❖ 救急医療体制の整備

救急医療体制の整備については、県内四ブロックに休日、夜間急患センターを各一カ所設置す

るほか、第三次救急医療体制として、高度な診療機能を有する救命救急センターを設置します。

若さがいっぱい 住みよい社会



交通指導って、大へんのネ



を見出していただくこと、学習の場と機会を拡充します。公民館を地域における社会教育センターとして機能するよう整備拡充することとし、青年婦

人会館、美術館、総合劇場、大型総合体育館などを整備します。県民オーケストラの創設も図られます。

♣ 県民大学校の設立

また、総合的に整備された学習の場と機会を提供する、県民

大学校の設立や、生涯教育振興基金を設けます。

♣ はつらつとした「若い力」を

♣ 若い力を生かす

若者が、自分の能力を十分発揮できる社会。そこに力強い若者の成長と、いきいきとしたエネルギーが展開されます。

活動に期待し、ボランティア・ビューローを設置して、支援します。

仲間づくりで若者の、自主性を確立し、共生共存の意識と思いやりの精神を涵養するため、若者の団体、グループへの積極的な参加を奨励、援助します。また、子供会のリーダー、美化運動、地域文化の創造等、若い力が主体となって進める地域

若者はまた、国際的視野に立って、ものを見、考え、判断する態度を身につけなければなりません。富山県青年の船事業の職業別派遣などの改善充実、海外青年の受入れ事業や、国際姉妹都市提携など、国際交流の推進を図ります。

♣ 若者の定着する環境づくり

若い力を発揮するには、若者が定着する環境がしっかりしていなくてはなりません。若者の能力と個性が十分発揮

できる魅力ある職場の形成、高等教育機会の増大。才能を育てる高い機能を備えた、都市環境の創造などの整備をいたします。

♣ 心のふれ合う新しいコミュニティ

都市化や生活圏の拡大、核家族化、価値観の多様化等から、

あります。

近隣社会への関心や結びつきが薄れ、その連帯感が失われつつ

よりよい社会生活を実現するために、心のふれあう社会の形成をめざす必要があります。

♣ コミュニティ活動の展開

日常生活に密着したボランティア活動や、各種の活動へ積極的に参加して、その体験から新しいコミュニティづくりをめざしましょう。

老八を訪問して手助けする、自然保護に関心をもつ、趣味・教養への参加、スポーツに参加する、郷土文化の伝承等いかげしう。

♣ コミュニティ活動の手だすけ

市町村を中心に、コミュニティ組織の育成、リーダーの養成、スポーツ大会など各種大会やコンクールの開催などを、社会教育

とタイアップしながら進め、また、公民館など施設の整備、モデルコミュニティの指定もを行います。



⑥ 水田利用の再編と住みよい村

農業の今日的課題である、水田利用再編への取組みを明らかにし、一方、農家と非農家のコ

♣ 水田利用の再編

良質米の供給基地としての基
本を堅持しながら、転作を一時
しのぎのものでなく、長期的展
望に立って、転作作物の定着を図

♣ 村づくり

長い年月に培われてきた、農
村集落の共同意識が、非農家が
増え、兼業化率が多くなるに従
い薄れてきて、地縁的な組織活
動を停滞させていますので、農
村地域住民の意識の高揚を図っ
ていきます。

ります。

このための必要条件を整備し
て、収益の向上を期します。

また、農村の生活環境につい
ては、快適な環境の確保、住民
の健康増進、早期除雪体制の整
備、近隣諸都市と結ぶ基幹道路
の整備などにより、住みよい生
活環境づくりをすすめます。



「郷土に関する図画」優秀応募作品から

⑦ 若者の定着する魅力ある都市づくり

若者の定着と流入を図るため
には、新幹線など基幹交通網整
備を基盤に、魅力ある都市づく

♣ 個性的な魅力ある都市

これまでの工業集積を生かし
さらに工業の高度化を図り、ま
た、都市整備に欠かせない
教育、文化、高度医療等の面
でも、高い都市機能を備えます。

また、都市整備に欠かせない
教育、文化、高度医療等の面
でも、高い都市機能を備えます。

富山県人のこまやかな人情に
よってかもし出される、文化的
行事、伝統工芸などの個性を大
切にして、人々にやすらぎと親
しみを感じさせるまちづくりを
めざします。

♣ 都市の再開発と修復

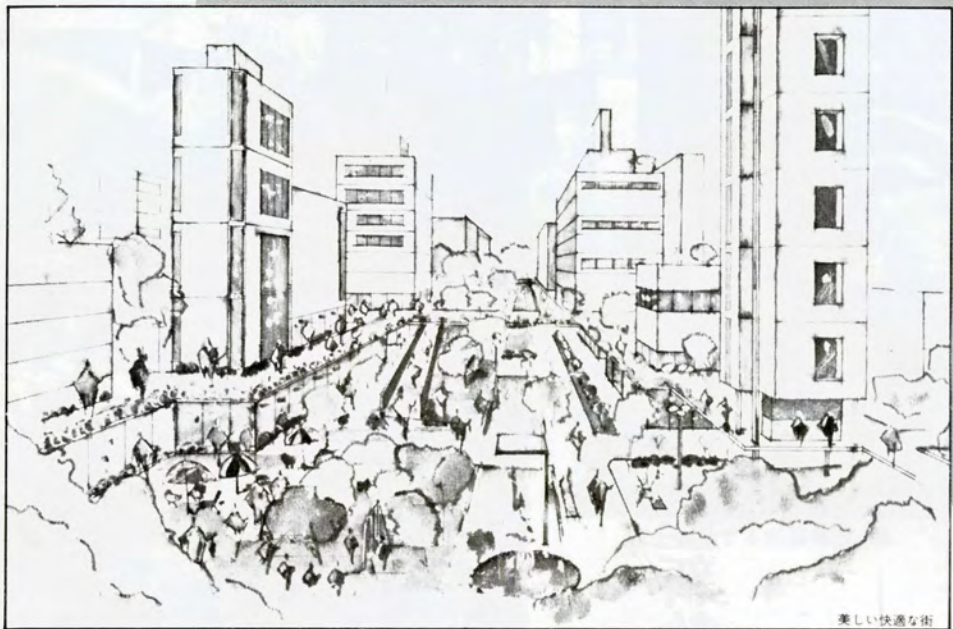
都市の顔ともいべき駅周辺
や都心については、再開発を進
めるとともに、広く全域にわた
る、公園広場など個性ある空間の
創出を図り、近代的な都市構造
への転換を進めます。

♣ 便利で安全な都市交通

公共交通を重視することを基
本に、市民にとって利便性と安
全性の高い、都市内交通の整備
や、交通渋滞のない都市間交通
の円滑化を図ります。

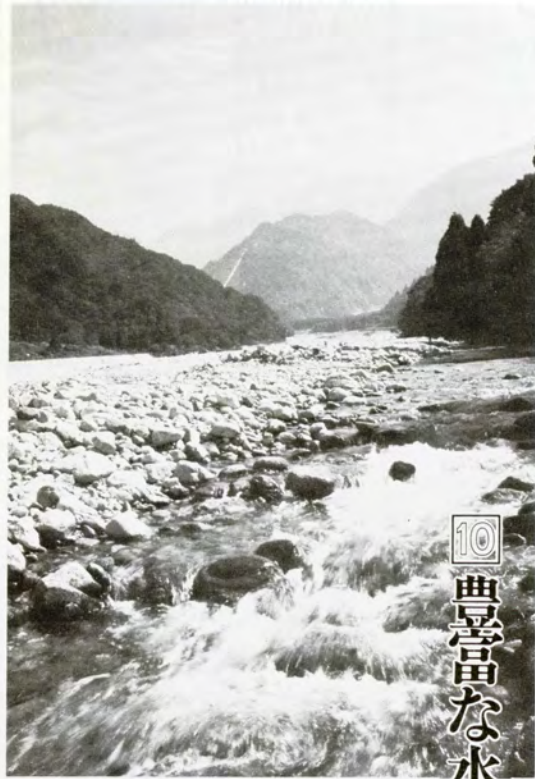
♣ 美しい都市づくり

都市は美しくなくてはなりま
せん。風格のあるたずまいを
つくる、緑や丘陵、河川の都市
への組み込み、あるいは、高木
性植樹帯のある街路や、伝統工
芸を生かした、彫刻のある橋な
ど、自然と人工が織りなす都市
の景観に配慮した都市整備を進
めます。



美しい快適な街

新幹線の開通 水資源の活用 伸びゆく富山県勢の基盤をつくる



10 豊富な水資源の活用

普通の年で二〇〇億、湯水年でも一六〇億の河川流量がある富山県は、この恵まれた水資源を有効に利用しなければなりません。

水資源の確保のきめ手は、ダム建設であり、国の財政援助を強く期待して、河川総合開発を

♣ 水は「公」のもの

すすめます。

また、「水は公のもの、大切なもの」という、水に対する考え方を基本に、上水道の広域化、一〇〇割の普及、料金の格差是正に努め、工業用水や農用水の確保、エネルギーとしての水力利用等の調査、開発に努めます。



郷土に関する応募作品から



の早期接続も図ります。

♣ ジェット機が飛ぶ

航空の大衆化時代を迎え、ジェット化に対処して、富山空港の滑走路を二千メートルに拡張整備し富山―東京の航空利用はもちろ

♣ 大型化する港湾

船舶の大型化、専用化が進む伏木、新港、富山の三港の機能分担を図りながら、外港及び魚津港などの港湾施設の整備をすすめます。さらに、省エネルギー

1、省力化を背景とした交通体系・輸送体系の変革に伴い、フエリ―基地、コンテナ基地などの整備を図ります。



9 北陸新幹線など新しい交通体系の整備

人・物・情報の流れを大量にかつ迅速化し、経済の飛躍的発展と、県民生活の利便性を画期

♣ 産業・経済発展への道

県民待望の「北陸新幹線」の早期実現は、地域振興に非常に大きな役割を果たすだけに、本県の悲願として、一日も早い開通に努力します。

北陸自動車道などハイウェイの整備は、関東、関西への時間的距離を短縮し、産業、経済の飛躍的発展につながり、期待されます。これに比べ、関連道と



8 雪に強い富山県に

富山県の日常交通を考える場合、忘れてならないのは「雪」の対策であります。

雪の克服は、住みよさの必須要件であり、県民一人ひとりが、互いに協力しながら、「雪に強い県づくり」を進める必要があります。

♣ 積雪時の対策

冬期交通の確保は、すべての雪対策の基本であり、除雪体制をはじめ、消雪工、滞雪ペーシングの確保、雪に強い道路構造に整備します。

また、生活必需物資の安定確保や、消防、防火体制の整備、医療の確保等の対策に万全を期します。

さらに、国、民間をも網羅した雪害、利雪に関する研究組織体制を整備します。



県民活動の
基本となる
指標

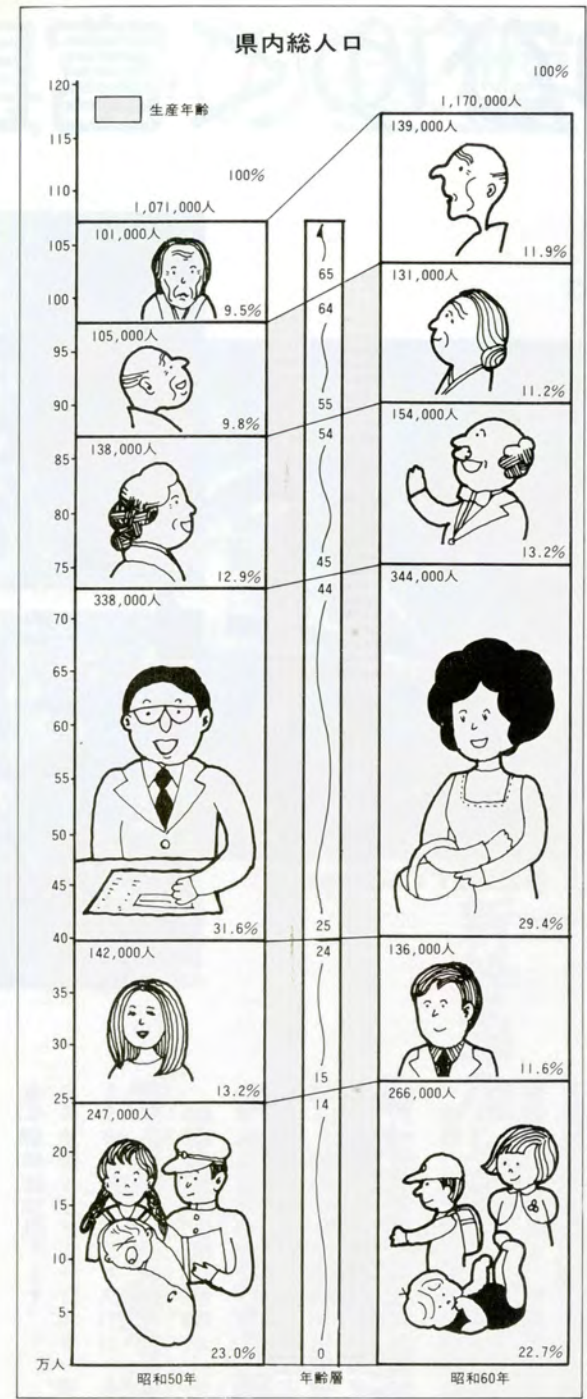
県民総ぐるみで住みよさを追求

土地利用基本構想

人口などの見通し

この計画は、全体が土地利用基本構想（表紙2を参照）を根底において、健康で文化的な生きがいを覚える生活環境をつくり出すことをめざしています。それには、県内のへどこに住んでいても、その願いが果たせるよう、県内を六つの広域生活圏（地域編参照）に分け、その

中で、通勤、通学、医療、買物など、日常生活の要求が三〇分程度で達成されるよう、道路の改善、就業の場の確保、環境の整備を図ります。



七万人と見えています。その年齢構成では、六五歳以上の高齢人口が総人口に占める割合が、五十年の九・五割から六十年には一一・九割と高まり、高齢化が進みます。また、十五歳から六四歳までの生産年齢人口では、十五歳から二四歳で六千人減少するのに対し、四五歳から五四歳で一万六千人の増、五五歳から六四歳で二万六千人の増となり、中高年齢層の雇用問題が深刻になることが予想されます。就業人口では、第一次産業は

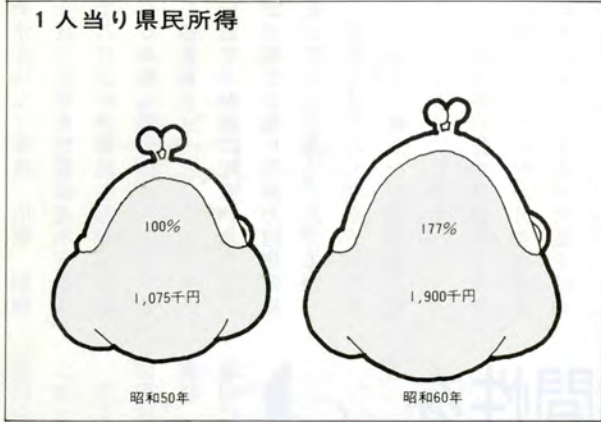
従来より減少テンポがやや低くなりませんが、引き続き減少し、第二次産業、第三次産業で五万六千人増加するものと見込まれます。所得の最大の要因である工業の出荷額を三兆三千四百億円と見込み、三全総の北陸への期待は、一応受け入れることができる規模になります。

県民生活の
基礎を固める

健康で快適安全で豊かな生活を 県民一人ひとりが健康に恵まれ、安全で快適な生活環境の中で、豊かな心のふれ合いを通じて、いきいきとした生活が送れることを念願に、「人間尊重を基調」とした計画です。

① 均衡のとれた生活便益や文化
② 安全な生活環境を確保
③ 心身ともに健康で、家庭や地域社会の中で、人間的なふれ合いと、温みのある生活が営める。

自然を守る心を育て、広く動物たちを愛する気風を高めて、美しい自然を守り育てます。花と緑の銀行やみどりの少年団、ナチュラリスト活動などを推進しながら、緑の富山県をめざします。

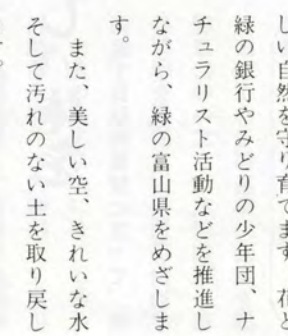


就業人口

	第1次産業	第2次産業	第3次産業	合計
昭和50年	89千人	211千人	260千人	560千人
昭和60年	54千人	240千人	287千人	581千人
増減	△35千人	29千人	27千人	21千人

長期低利の県融資制度を設けて、暮らしやすい住宅や宅地を確保します。水道一〇〇割と下水道の五〇割普及を目標として整備いたします。出てくるゴミはすべて処理し、一方、資源の再利用や省資源化を図ります。自然災害の未然防止と防火体制を整備し、防災意識を高めます。

また、美しい空、きれいな水そして汚れない土を取り戻します。



十分に持ち、養護、治療、回復介護の施策を整備拡充し、必要であれば経済援助もして、住民ぐるみの「福祉のまちづくり」をします。

また、心身に障害のある方には、可能な限りの能力回復の施策に努め、社会復帰を図ります。幼児をはじめとする子供たちを、安全で健全な生活環境で育てられるようにします。

一般県民の総ボランティアを目標に県や市町村の社会奉仕活動センターの充実や組織を拡大します。

また、県民の健康には、きめ細かい対策を立て実行します。



余暇利用に対する県民のニーズに対応して、都市公園や運動広場、総合体育館などを整備し、

きるようにし、若者の多い活力ある地域づくりをいたします。そのために県立技術短期大学の四年制指向、富山大学の学部学科、大学院の整備、富山医科薬科大学の医療技術短期大学部門、歯学部門及び大学院の整備、コミュニティカレッジの誘致、私立大学の誘致、専門学校等の拡充整備に努めます。

健康でスポーツを楽しむ

スポーツの生活化を図り、県民一人一スポーツを実現します。県民公園や立山山麓レクリエーション地区に、総合的なスポーツレクリエーション・エリアの整備をするほか、岩瀬スポーツ公園の拡充整備、大型県営総合体育館の建設、学校体育施設の開放等を積極的に進めます。健康増進センターの活用を図り、健康測定や体力テストを推進します。スポーツ振興基金を拡充し、民間主導のスポーツ振興を進めます。

県民公園や立山山麓レクリエーション基地の完成を急ぎます。さらに、教養を高めるための図書館、公民館、博物館、総合劇場、美術館、彫刻の森など、適切に配置いたします。

人間性を豊かに育てる



教育目標

- ↑人間の生き方を考える優れた知性を
- ↑自然と芸術に親しむ豊かな心を
- ↑健全な心を支えるたくましい体を



学校教育、家庭教育、社会教育の三者を一体化して、生涯教育の視座に立ち、県内全域で各世代にふさわしい学習、スポーツ、芸術、文化など、あらゆる領域の諸活動を活発に調和のとれた人づくりをめざします。

若い芽を つちかう

大切な乳幼児教育のため、乳幼児育成センターの設置や、市町村に保育振興協議会をつくり、保育所、幼稚園を整備し

国道の四車線化やバイパス化を進め、県道の整備、バス路線を重点に、市町村道の整備を急ぎ、一方、民営の鉄軌道やバス路線の維持や、国鉄のサービス向上を働きかけ、さらに、道路

調和のとれた 学校教育を

充実した学校生活を送れるように、知、徳、体の調和のとれた児童・生徒の育成をめざし、働くことや創造する喜びが体得できる教育への転換に努めます。高等学校の学科の種別及び配

あらたな 高等教育

教育には、ゆとりある、道徳的実践力や強靱な心身の育成に努め、知・徳・体かねそなえた人間形成をめざし、生きがいを持たせる指導をします。大学など高等教育機関を整備し、高い進学率を県内で収容で

文化の創造と継承

県民の芸術文化に対する欲求の高まりに応え、また創造の芽を守り育てるために、県立美術館の建

充実し安定した県民生活の実現

食料の安定供給と 緑の保全

▼農業
食料基地として、農畜産物の自給力向上を図るとともに、そ



設、総合劇場、県民オーケストラの設立、芸術文化活動の援助や指導者の養成を進めます。の付加価値を高めるため、食品加工センターを設置します。また、農地の高度化、汎用化などの生産基盤の整備、農業後継者育成基金の設置、農村婦人教室の開設をすすめます。

また、文化財保存財団の新設などにより、埋蔵文化財の発掘調査に積極的に取り組みます。ほか、養殖漁業の振興、良好な漁場の造成などに努めます。

環境と調和した 豊かにする工業

昭和六〇年の工業規模を、昭和五〇年の二・二六倍の三兆三千四〇〇億円の出荷額を想定しています。

▼林業
森林がもつ公益的機能と、生産物供給という二つの役割の調和を図り、造林面積を拡大し、大規模林道の建設や、山村特産センターの設置、森林組合労務班の社会保障制度の充実等を図ります。

▼漁業

二百カイリ時代に伴う漁業資源の制約の中で、今後とも新鮮で良質な水産物の安定供給を確保するため、今後、獲る漁業から育てる漁業への脱皮も必要となつてきています。そこで、栽培漁業センターを活用した栽培漁業の推進を図る

企業の適応立地には、工業の再配置を図り、内陸部に工業用地を先行造成し、新規立地工場は緑で包み、また、企業の運動場やレクリエーション施設を、地域の住民に解放して融和を図ります。富山新港背後の工業地帯には雇用吸収力や所得の面で、波及効果の高い優良企業の誘致をいたします。工業構造の高度化を進めるた

富山湾

・富山湾を知るために、その自然について総合調査をします。

海底の地形、底質、海洋生物に与える影響。沿岸流、海流、波浪、水温、標砂、風向、風力。海岸の自然度。赤潮発生機構等。

・富山湾を守るために良好な水質を維持し、クロマツ林や暖温帯の植生の保全、海岸埋立地等の緑化を促進します。また、寄りまわり波などによる浸食の著しい箇所から、順次防災施設を整備して、海との自然な触れあいの場をつくります。

・富山湾を利用するため、港湾施設の整備・充実。漁業資源の安定と漁港施設の整備。海洋性観光レジャー施設の建設整備をいたします。

総合計画

多様化する 第三次産業への 対応

め、付加価値生産性の高い技術集約型工業へ移行することをめざし、中小企業の振興のため中小企業情報センターの設置、金融制度の充実、不況業種への救済措置と業種転換の指導、工業技術センターの設置、技術振興協会の拡充を図ります。

若者の県内定着を図る上でも有力な分野の第三次産業の振興を図り、商店の共同店舗化、駐

氷見圏

- 西部水道用水供給事業による上水の供給
- 国営かんがい排水事業
- 大型レジャー基地の整備
- 水産業の振興と栽培漁業センター整備
- 能越高速自動車道の建設促進

射水圏

- 富山新港の整備
- 富山新港背後地に緩衝緑地を整備
- 新湊漁港の建設
- 神通川左岸流域下水道の整備
- 県民公園太閤山ランドの整備
- 大型流通業務団地の建設
- 総合衛生センター等研究学園地区の整備

富山圏

- 富山市の都市整備
 - 富山駅周辺の再開発
 - 都心の再開発等
- 富山空港などの整備
- 県立美術館・青年婦人会館など文化施設の整備
- スポーツ・レクリエーション施設等建設
 - 総合体育館
 - 勤労者いこいの村
 - 健康増進センター等
- 熊野川総合開発
- 神通川左岸流域下水道の整備
- 富山外港計画の推進
- 八尾中核工業団地の建設
- 神通川工業用水道敷設
- 立山山麓レクリエーション基地整備
- 富山南西部土地利用計画の策定と推進

山村地域

山村の人々が、祖先からの土地を守り、県土を災害から未然に防ぐために、自然を保護する働きをしていることの尊さに対して、その生活の基礎としての所得を、平地並に確保しなければなりません。

山間地の基盤整備を進め、作業の省力化、適地適産の特産物の振興や、山村観光が産業として成り立つよう環境をととのへ、また、山菜加工や木製品など地域に適した工場立地、山村特産物の栽培・加工をすすめるよう、山村

広域生活圏の 大型プロジェクト

地域 編

新川圏

- 新幹線停車に対応した観光資源の開発
- 高速自動車道などの整備
- 教育文化施設の整備
- 水産加工団地の建設
- 黒部川及び朝日小川の総合開発
- あさひ国民休養地の整備

車場の整備、生鮮食品等の卸売市場の整備、また、高速道路関連の流通基地の整備をします。観光需要の増大を予想し、産業としての観光を育成し、環境や自然との調和に十分配慮しながら、地域の特性をいかした観光資源、施設の面的な開発整備を助長し、広域観光ルートの確立、観光に関する情報サービス機能を整えます。

また、県民のニーズに対応する新しいサービス産業として、若者にとって魅力ある職場であることを考え、情報産業やホテル、デパート、高級小売店などの都会的産業、スポーツ関連産業の振興を図ります。本県の立地条件をいかした、対岸貿易の一層の進展を図る必要から、ジェトロ富山相談所を開

雇用の促進と 勤労者福祉の向上

中高年令者の雇用の安定、若者に魅力ある職場を確保、新規学卒者を中心とする若年労働者の県内就職促進等、雇用の安定確保を図ります。心身障害者職業センターなど

で、心身障害者の能力の開発を図り、雇用の際には、各種の金融制度等を通じて促進します。高学歴志向、職業能力習得ニーズの高まり等から、生涯職業訓練を推進します。勤労者の福祉向上施策として週給二日制の推進、勤労者いこの村、勤労者体育施設、勤労青少年ホーム、働く婦人の家等の整備をすすめます。

高岡圏

- 高岡市の都市整備
 - 高岡駅前商店街地区の再開発
 - 工場の移転と跡地の利用等
- 新幹線停車駅周辺の整備
- 国立のコミュニティカレッジ等高等教育機関の整備
- 工業試験研究施設等の整備
- 小矢部川流域下水道の整備
- 伏木外港計画の推進
- 大型工業団地の造成調査
- 国道8号の高岡・小矢部バイパス建設

砺波圏

- 新幹線停車駅周辺の開発整備
- 東海北陸自動車道の建設
- 国道156号・304号の整備
- 小矢部川流域下水道の整備
- 砺波総合卸売市場の開設
- 打尾川農業水利事業
- 境川の総合開発
- 観光レクリエーション施設の整備

特産センターを設置します。

文化的な生活を享受するため、100%の水道普及、テレビ難視聴の解消、医療体制の整備、学校、学級の充実に努めます。

一方、村内道路及び村外連絡道路の整備をすすめる、バス路線対策や、特に冬期間の交通確保を図ります。

また、公民館や山村開発センター、生活改善センター施設等の活用による、住民のコミュニティ活動の促進を図ります。

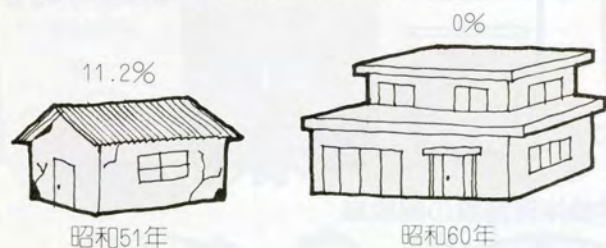
昭和60年のふるさと「富山県」

主な生活指標

住む

区分	指標	内容	現況 (昭和51年)	昭和60年 (目標)
住宅	最低居住水準以下の世帯割合	水準以下世帯数/普通世帯数	11.2%	0%
上水道	上水道普及率	給水人口/(簡水等含む)総人口	80.4	100
下水道	下水道普及率	処理人口/総人口	12.6	50
ごみ処理	ごみ処理率	処理人口/総人口	98.4	100
県土保全及び災害の防止	保安林面積率	保安林面積/森林面積	62.4	66
	河川の改良率	改良済延長/要改良延長	20.6	31
	砂防工事進捗率	工事済カ所/危険カ所	15.0	33
	海岸の整備率	整備済延長/要防護延長	堤防護岸 61.9 離岸堤 11.7	71 43

●最低居住水準以下の世帯の割合



●上水道普及率



●自然公園等面積率



安らぐ

区分	指標	内容	現況 (昭和51年)	昭和60年 (目標)
自然・緑	自然公園等面積率	自然公園等面積/県土面積	27.7%	36%
	街路緑化率	街路緑化延長/都市街路整備延長	34.7	46
公害	SO _x 環境基準適合率	達成観測局数/全観測局数	100.0	100
	NO _x 環境基準適合率	達成観測局数/全観測局数	6.7	100
	BOD環境基準適合率	達成測定基準点数/全測定基準点数	83.0	100

財政総支出

6,270億円

53年から5年間

行政計画



総合計画の三本柱実現

住みよい富山県をつくる総合計画の修正計画のめざす、昭和六〇年における目標を念頭におき、昭和五三年から五年間、県が実施主体となり、あるいは、その実施を分担したり、助長したりする、主要事業について行政計画をたてています。

計画の三本柱を実現するため、充てられる県の財政支出は、

「県民生活の基礎を固める」 三、三三〇億円

「人間性を豊かに育てる」 三、二〇〇億円
(教職員給与費を含めると 三、一四一億円)

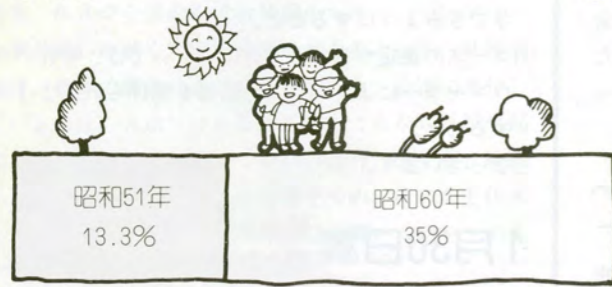
「調和ある繁栄をもたらす」 一、六二〇億円
となり、およそ、六、二七〇億円と見込んでいます。

この財政支出の見積りにあたっては、本計画の経済成長率を勘案して算定される財政収入などと、十分整合を図っており、五年間の各年についての年割を設けず、社会情勢の変化、財政状況などに弾力的に対処することとしています。

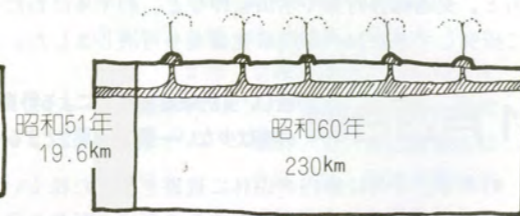
動く

区分	指標	内容	現況 (昭和51年)	昭和60年 (目標)
交通	道路改良率(国県道)	改良済延長の割合	74.8%	91%
	道路舗装率(国県道)	舗装済延長の割合	90.2	97
	歩道整備率(国県道)	実延長(歩道自転車道)/道路延長	13.3	35
雪	除雪延長率	除雪対象道路延長/道路延長	84.0	92
	消雪施設延長	実延長	19.6km	230km

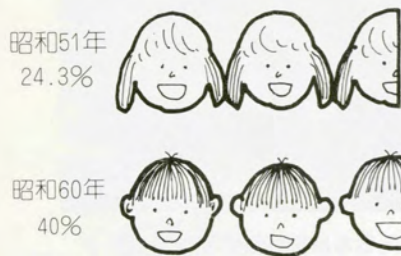
●交通 歩道整備率(国県道)



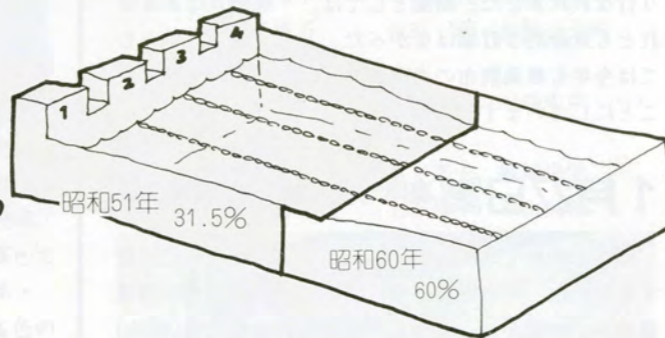
●消雪施設延長



●幼稚園就園率



●中学校プール設置率



学ぶ

区分	指標	内容	現況 (昭和51年)	昭和60年 (目標)
乳幼児教育	幼稚園就園率	3~5才人口に対する割合	24.3%	40%
	特殊教育就学率	就学者数/心身障害児童生徒数	46.6	100
学校教育	小学校プール設置率	設置数/学校数	47.4	77
	中学校プール設置率	設置数/学校数	31.5	60
	中学校格技場設置率	設置数/学校数	25.0	43
	高校格技場設置率	設置数/学校数	85.4	100
	高校屋内運動場不足比率	不足面積/基準面積	7.1	0
社会教育	少年団体加入率	加入者数/6~14才人口	75.3	80
	社会教育学級受講率	受講者/7才以上人口	4.8	8
	社会教育主事設置数	人口10万人当り	10.1	12

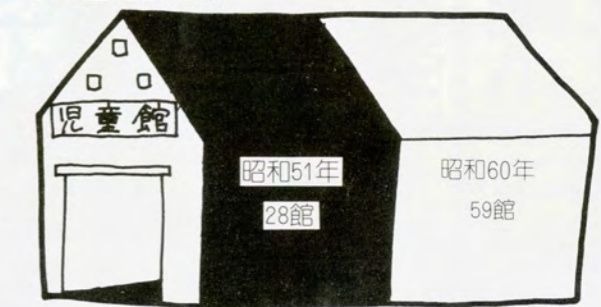
いつくしむ

区分	指標	内容	現況 (昭和51年)	昭和60年 (目標)
社会福祉	老人憩の家数	1小学校下当り設置数	0.2カ所	1カ所
	精薄者施設入(通)所定数	人口10万人当り	97.3人	120人
	身障者施設入(通)所定数	人口10万人当り	34.3	61
	特別養護老人ホーム入所定数	人口10万人当り	24.6	49
	保育所入所率	入所定数/6才未満人口	26.6%	32%
	児童館設置数	設置数	28館	59館
医療	乳児死亡率	出生児1,000人当り生後1年未満死亡者数	9.5人	6人
	妊産婦死亡率	出産数1万人当り妊産婦死亡者数	3.0	1
	健康診査受診率(乳児)	受診者/出生児	44.3%	100%
	健康診査受診率(妊婦)	受診者/出産数	85.9	100
	病院病床数	人口10万人当り	1,247.6床	1,342床
	一般診療所病床数	人口10万人当り	318.6	334
	医師数	人口10万人当り	106.7人	154人
	歯科医師数	人口10万人当り	30.6	47
	看護婦・准看護婦	人口10万人当り	432.8	609

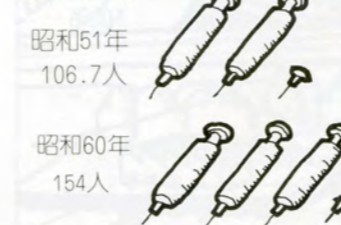
●老人憩の家数



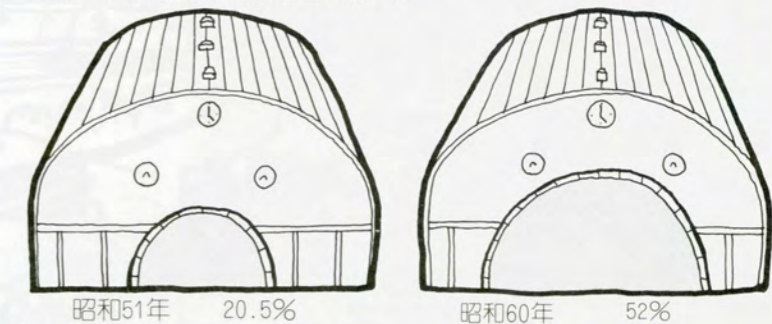
●児童館設置数



●医師数



●小・中学校体育施設の開放率



楽しむ

区分	指標	内容	現況 (昭和51年)	昭和60年 (目標)
公園・緑地	都市公園等面積	都市公園等面積/都市区域内人口	3.3㎡	9㎡
	スポーツ・野外レクリエーション	公共スポーツ施設数	(昭50)19.8カ所	32カ所
社会教育	社会体育施設の充足率(運動広場)	基準数に対する割合	50.0%	82%
	社会体育施設の充足率(体育館)	基準数に対する割合	28.2	52
	社会体育施設の充足率(プール)	基準数に関する割合	85.5	95
	小・中学校体育施設の開放率	指定校数/学校数	20.5	52
文化・教養施設	公民館数	人口1万人当り	2.5館	3館
	図書館数	人口10万人当り	3.2	4

● 県政のうごき ——— 1月16日～2月15日

1月17日 ☒ インフルエンザ流行で警告

高岡市伏木小学校と婦中町城山中学校で集団かぜが発生。症状や全国的な流行状況からみて、インフルエンザの疑いが濃く、流行の恐れがあるとして、県厚生部は、検体の調査に入りました。また、全国に流行しているのは、Aホンコン型であるところから県厚生部は、①帰宅後や就寝前にうがいの励行。②栄養、睡眠を十分にとる。③不適当な薄着をやめ、汗のあと仕末を十分にすする。④人ごみやたばこの吸いすぎをやめる——などの注意を呼びかけました。

1月17日 ☒ 新しい栄養指導車と配車



今度配車された栄養指導車は、ボデーを小型にして県内くまなく運行できるようにしました。

また、車体の色彩も栄養教育もかねて、栄養3色の赤・黄・緑の色調にしています。

栄養車が廻ってくる日時は、市町村を通じて案内してありますので、附近の方々は、多数お集り下さいと係では、呼びかけています。

1月20日 ☒ 県体スキー開幕

山田村牛岳スキー場で、第30回県民体育大会スキー競技会が開かれ、20日開会式、21・22日の2日間吹雪の中で大回転、距離、リレーの3種目の競技が展開されました。

大会期間中の総参加人員は1,000人を越し、史上最高の盛り上がりとなりました。

各種目の第1位は次のとおりでした。

●大回転	教員男子	小山正高	宇奈月スキー
	成年男子1部	福井健伸	近大
	" 2部	宮崎 章	立野ヶ原スキー
	" 3部	大屋浩治	富山ダイナミック
	" 4部	尾原旺夫	宇奈月スキー
	" 5部	折戸仁作	国鉄富山
	成年女子1部	住吉春美	日体大
	" 2部	金森志津子	高岡市スキー
	少年男子	向 智志	富山第一高校
	少年女子	野嶽一美	富山商業高校
	中学男子	菅原 誠	魚津西部中学
	中学女子	広原美子	上滝中学

●距離競技 (15km)			
	成年男子1部	井瀨信雄	中京大
	" 2部	島田健治	立野ヶ原スキー
	" 3部	山田友一	"
	" 4部	山本良治	宇奈月スキー
	教員男子	村井直人	立山スキー
	少年男子	長田一政	福野平分校

●距離競技 (8km)	中学男子	江川雅之	城端中学
-------------	------	------	------

●距離競技 (5km)	中学女子	南 京子	城端中学
	少年女子	上谷祐子	雄山高校



●リレー競技 (8km×4)	成年男子	立野ヶ原スキーAチーム
	少年男子	福野平分校
●リレー競技 (5km×3)	少年女子	雄山高校
●リレー競技 (5km×4)	中学男子	城端中学校Aチーム

- リレー競技 (2km×3)
中学女子 城端中学校Aチーム

1月22日 ☒ 県青年議会、全日程を終了 — 一本会議開き、14県政研究 議案を可決 —

去る8月3日に組織された、第21回富山県青年議会(46名)は、この日を最終日として、県議会議場で本会議を開き、県政全般について、中田知事に質問したあと、交通総合対策や水田転作など、約半年にわたって研究してきた14の県政研究議案を可決しました。

1月23日 ☒ 松くい虫防除農薬散布による野鳥への害は少ない— 調査結果まとまる —

昨年6、7月に県内の山林に被害を与えた松くい虫防除のために農薬を空中散布することは、野鳥や昆虫に被害の影響がでないかと、その是非が論議されました。県はこの問題について専門家に調査依頼をしていたところ、結果がまとまり発表されました。

調査は、野鳥については砺波市頼成山周辺で、昆虫は、頼成山と朝日町城山で、各防除の前後5回にわたり行なわれました。結論としては、「疑問点はあるけれども致命的な打撃はなかった」としており、県としては今年も農薬散布の必要があれば、慎重に実施することにしています。

1月27日 ☒ 高岡地域大学(仮称)構想了承

日本で初めてのコミュニティカレッジを高岡に誘致するために、その内容を検討する「高岡地域大学設置協議会」が開かれ、県から「国立高岡地域大学(仮称)の構想」が提案され、大筋で了承されました。

大学の性格については、

* 基本的性格

①地域自体が期待する産業、経済、文化、政治などのニーズと、②地域住民の多様な高等教育に対するニーズの双方に対応できるような性格を持つ高等教育機関とする。

具体的教育内容の展開にあたっては、次の諸点について配慮する。

- (1)地域の文化・産業に寄与する実学中心の学習コースをおくこと。
- (2)実社会で働くものが、再び復学して学習する場合や一般主婦の余暇利用学習など生涯教育に役立つ学習コースをおくこと。

- (3)一般教養の習得に重点をおく学習コースをおくこと。
 - (4)四年制大学への編入希望者のための学習コースをおくこと。
 - (5)専攻分野のコースをまとめて学系とするが各コース各学系にまたがり、学習者に必要な講座はできるだけ自由に選択できるようにすること。
 - (6)聴講生制度による認定単位の累積で卒業の資格を付与できるようにすること。
 - (7)コースの選定や単位の選択にあたっては、専任のカウンセラーによる専門的な指導を受けられるようにすること。
- となっています。

1月30日 ☒ 住みよい富山県をつくる 総合計画の修正計画答申



昭和60年に向かったの県政の指針となる総合計画の修正計画が答申されました。

重点目標として、

- ・若者が多い活力ある人口構成を実現する
- ・ボランティア活動の展開などによる豊かで心のかよい合う社会をつくる

の二点をかかげております。(本文参照)

2月14日 ☒ 53年度県予算案発表 — 一般会計2,251億円

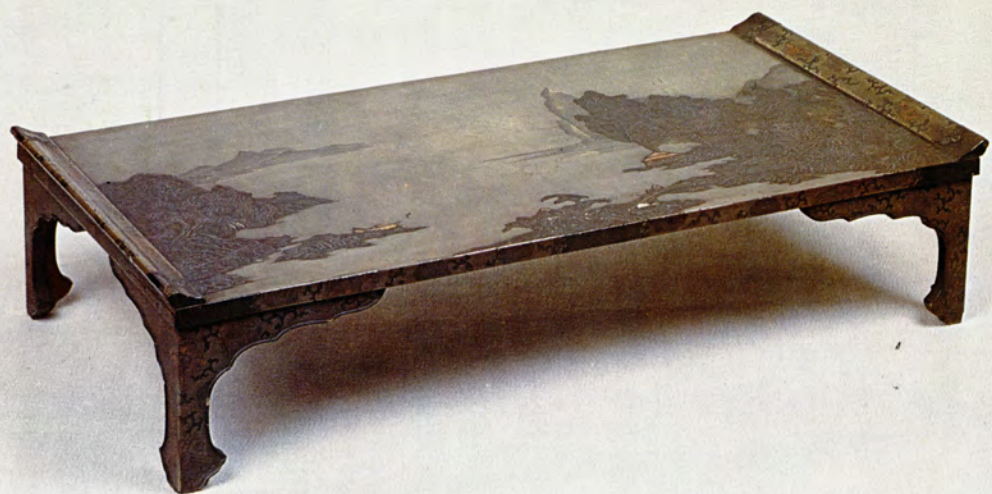
53年度県予算案の規模は、一般会計が2,251億2,705万4千円で、52年度の当初予算に比べて、16.4%の伸びとなっています。

中田知事は記者会見で、財政環境は厳しいが、愛と繁栄の県政三大政策を一層推進することを基本に、予算編成をした。景気回復のための公共事業を積極的に遂行するほか、県単独建設事業にも配慮した。新しい総合計画に沿って、県民生活の安定、福祉施策の充実につとめ、特に「心と体の調和を中心に重点配慮した」と述べた。(予算は4月号で特集いたします)

山水模様文台

初代 石井(米屋)勇助 作

在・高岡工芸高校青井美術館蔵



米屋勇助は藩政末期から明治中期にわたり高岡漆器の中に異彩を放ち、美術漆器の名声を発揚した名工である。文化五年高岡市片原町に生まれ、漆工に興味をもち、独自の研究によって、ついに、藩主の認めるところなり、苗字帯刀をゆるさるに至った。生来、恬淡寡欲、製作に当っては木地から塗、彫刻模様付けまで、二人の子息相手に気の向くまま作りあげていたため、作品はきわめて少く、いずれも名品で貴重な遺品となっている。

この文台も彼の特長とする錆絵山水図画をあらわしい、全体の形状装飾にも慎重な心くばりがうかがえて、気品があり、重厚なつちにも、華麗で沈潜した深い美しさがある。

当時、この上絵に用いられた密陀僧も特色のある手法で、そのほか青貝・石・玉の彫刻嵌入に併せて、錆絵の創始など、妙技豊かな名作がのこされている。

佐藤良成

パブリック・コミュニケーション



広報課から 広報

県民と行政を結ぶコミュニケーションの場として、富山県では、次の広報媒体と、公聴媒体をフル運転して、県民のみならず行政のすべてをタイムリーにお知らせし、また、県民の積極的なご意見などを県政に反映させています。昭和五三年度から、この特集でみられた通り、「住みよい富山県をつくる総合計画の修正計画」がスタートします。広報も、従来の媒体を見直し次のように改善を図ります。どうぞ、気軽にご意見、ご要望をお寄せください。

● 広報

● 月刊誌

毎月一回二八頁にみなさんの生活にかかわりの深いことを盛り込みオビニオンリーダーや多くの人々が集まる医科、歯科、医院、美・理容院、銀行等に配付しますので、ご覧ください。また、各県民相談室においてありますので、お持ち帰り願って、できれば近所へ回覧してください。

ください。

● 新聞

北日本・富山・読売・中日の各新聞に、毎月の最終土曜日に県の「施策」や「キャンペーン」を%ページで、また、毎月第二土曜日には、「お知らせ」を登載します。なお、四月一日には、五三年度の県予算特集を二頁で登載します。

● グラフ

住みよい富山県をつくる富山県に繁栄をもたらす若い世代を育てる

の県政の三本柱別に、若干の解説を加えて、県政のあらましを写真に表わし年一回発行します。

● テレビ

北日本放送
富山テレビ

北日本放送では、毎週日曜日十時から三十分間、わかりやすく、楽しい県民参加の番組を放送します。また、「おはようKNBです」の火・木曜日には、お知らせを挿入いたします。

富山テレビからは、毎週土曜日、十八時から三十分間、バラエティーに富んだユニークな番組を編成して放送します。

● 視聴覚障害者のための 広報

月刊誌や新聞で広報する記事を、点字やテープにおきかえて配付します。

公聴

● 県政バス教室

(裏表紙をご覧ください)

● 知事と語る会

知事が各市町村に出向き、地域の方々と「ヒザを交えて」懇談するこの企画は、今年も続けて行ないますので、多数お集りください。

● 県民相談室

県庁と、高岡・砺波・魚津の総合庁舎内に、県民相談室があります。いつでも、誰でも、どんなことでも、気軽に相談してください。

ことしの県政バス教室

県政バス教室は、県の施設や事業等の紹介を通じて、県政についての正しい理解と認識を高めていただくために実施しているものです。

参加しましょう



①応募方法……下記の要領で、はがきでお申し込みください。

(団体) (個人)

・団体名
・事務局設置) 市町村名
・代表者住所(郵便番号)
・連絡者住所(郵便番号)
・氏名及び電話番号
・希望のコース及び運行日

・住所(郵便番号)
・氏名
・電話番号
・希望のコース
及び運行日

●申し込み先

申込団体または個人の住所地	申込先	所在地	電話番号
富山市・上新川郡・婦負郡	富山県知事公室広報課	富山市新総曲輪1-7 富山県庁内	(0764) 31-3131
高岡市・新湊市・氷見市・射水郡・福岡町	高岡地方県民相談室	高岡市赤祖父211 高岡総合庁舎内	(0766) 21-9411
魚津市・滑川市・黒部市・下新川郡・中新川郡	魚津地方県民相談室	魚津市新宿10-7 魚津総合庁舎内	(0765) 24-5311
砺波市・小矢部市・東砺波郡・福光町	砺波地方県民相談室	砺波市幸町1-7 砺波総合庁舎内	(07633) 3-5151

②申し込み期間

4～6月の県政バス→3月1日～3月15日
7・8月の県政バス→5月1日～5月15日
9・10月の県政バス→7月1日～7月15日

③参加の決定通知

抽選によって決定します。

なお、参加者決定の通知をもって発表にかえ、抽選もれの方には通知しませんのでご了承ください。

④携行品など

- (1)参加費は無料ですが、入館料(瑞竜寺・風土記の丘)の実費は負担してください。
- (2)昼食及びお茶は、各自持参してください。
- (3)団体で参加される場合は、団体が指定する場所(2カ所)まで送迎します。



昭和53年度「県政バス教室」運行表

●運行コースは変更することがあります。

●親子バス(7月28日・8月2日)、小中学生バス(8月9日・11日・25日)は、別にコースを組みます。

テーマ (コース名称)	富山地区		高岡地区		魚津地区		砺波地区	
	運行日	コース	運行日	コース	運行日	コース	運行日	コース
いつくしむ (福祉)	1/2・5/11 1/2・5/11 %	(頼成の森経由)・長生寮・高岡問屋センター(昼食)・(富山新港経由)・県庁・社会福祉総合施設(運動公園経由)	5/11・7/15 %	社会福祉総合施設(運動公園経由)・富山武道館(昼食)・県庁・九重荘・身体障害者更生指導所	5/11・6/11 %	緑化センター・八尾園(昼食)・ふるさと養護学校・県庁・消費生活センター	5/11・6/11 %	ふるさと養護学校・流杉老人ホーム(昼食)・県庁・情報処理教育センター・富山新港
きずく (土木)	1/2・6/11 %	(頼成の森経由)・和田川ダム・二上青少年の家(昼食)・(富山新港経由)・県庁・富山中央卸売市場	1/2・5/11 %	和田川水道(太閤山団地経由)・呉羽ハイツ(昼食)・県庁・富山空港・身体障害者更生指導所	5/11・7/15 %	水産試験場(高月海岸経由)・富山港・呉羽ハイツ(昼食)・県庁・白岩川ダム	5/11・6/11 %	和田川ダム・(太閤山団地経由)・呉羽ハイツ(昼食)・県庁・富山空港・富山中央卸売市場
さかえる (商工)	1/2・6/11 %	(太閤山団地経由)・高岡問屋センター・工業試験場(昼食)・(二上万葉・富山新港経由)・県庁・埋蔵文化財センター	1/2・6/11 %	富山新港・五右衛門・呉羽ハイツ(昼食)・県庁・広貴堂・富山高等技能学校	1/2・5/11 %	富山企業団地・富山新港・木材試験場(昼食)・県庁・流杉老人ホーム	5/11・7/15 %	高岡鋸器団地・工業試験場(昼食)・県庁・広貴堂・和田川水道
つちかう (農林水産)	5/11・6/11 %	水産試験場・富山市フラワーセンター(昼食)・農業試験場・県庁・交通管制センター	4/11・6/11 %	塚越花木団地・木材試験場(昼食)・県庁・セーナー苑・農業試験場	1/2・6/11 %	水産試験場・林業試験場(昼食)・農業試験場・県庁・交通管制センター	1/2・5/11 %	緑化センター・農業試験場(昼食)・県庁・塚越花木団地・太閤山住宅団地
やすらぐ (自然環境)	5/11・6/11 %	県民公園・瑞竜寺(昼食)・(二上万葉・富山新港経由)・県庁・粗大ゴミ処理場	5/11・6/11 %	公害センター・緑化センター(昼食)・県庁・大岩眼目県定公園	1/2・6/11 %	薬草園・立山寺参道トガ並木・大岩眼目県定公園(昼食)・県庁・情報処理教育センター(呉羽山公園経由)	1/2・7/15 %	公害センター・県民公園・呉羽ハイツ(昼食)・県庁・消費生活センター・緑化センター
そだてる (教育)	5/11・7/15 %	立山風土記の丘・山野スポーツセンター(昼食)・県庁・科学教育センター	5/11・6/11 %	呉羽少年自然の家・埋蔵文化財センター・県立図書館(昼食)・県庁・交通管制センター・公害センター	5/11・6/11 %	立山風土記の丘・山野スポーツセンター(昼食)・県庁・科学教育センター(運動公園経由)	1/2・6/11 %	瑞竜寺・県立図書館(昼食)・県庁・科学教育センター・呉羽少年自然の家

(注) 農林水産コースについては、上記のコースに変えて次のコースを選ぶことができます。この場合、実習材料費の負担が必要です。

こしひかり号	5/11・6/11 %	農山漁家生活近代化センター(昼食)・農業試験場・県庁・うまい米づくり村	1/2・6/11 %	農山漁家生活近代化センター(昼食)・県庁・富山市フラワーセンター・農業試験場	1/2・6/11 %	農山漁家生活近代化センター(昼食)・農業試験場・県庁・うまい米づくり村	5/11	農山漁家生活近代化センター(昼食)・県庁・富山市フラワーセンター・農業試験場
--------	----------------	-------------------------------------	---------------	--	---------------	-------------------------------------	------	--